

2nd Circular

7/10/2020

第 23 回総合学術研究集会 in 東京

人間の尊厳と平和で持続可能な社会を求めて—科学者と市民の共同を探求する—

2020 年 12 月 4 日(金)～6 日(日)

第 23 総学はオンライン開催に変更します

今年 2 月 1 日に 23 総学第 1 回全国実行委員会を開催して以降、私たちは開催日程、会場、スケジュールおよびメインテーマ案を確認し、以後、関東甲信越地区の各支部の協力も得ながら、現地実行委員会を中心に企画の立案・検討・具体化などの準備を鋭意進めてきました。

しかしその後、新型コロナウイルスの感染が拡大し、日本社会に深刻な打撃を与えました。政府の「緊急事態宣言」は 5 月 25 日に全都道府県で解除されたとはいえ、現在もなお多くの大学がキャンパスへの入校を制限しており、23 総学の開催予定校も閉鎖されたままです。また東京では毎日少なくない新規感染者が出ており、多くの市民が通常でない生活や勤務を強いられています。特效薬もワクチンもない現状では収束には長い時間を要することが予想されます。こうした状況をふまえ、全国幹事会にも諮りながら、23 総学実行委員会で議論を重ねた結果、従来通りの会場校での総学開催は困難と判断し、今回は例外的な措置としてオンラインで開催することとしました。

ITの活用で不慣れな会員へのサポートを行うなど工夫を凝らして開催へ

オンラインでの開催は、従来の総学とは異なって様々な制約があり、また情報機器やオンライン・ソフトの扱いに不慣れな会員もおられます。こうした会員に対して、実行委員会が必要なサポートをしていく予定です。

困難な条件のもとでも限られた条件を生かし、JSA の存在意義を打ち出す集会に

一方、これまでは遠方であるとか、2泊3日の日程では参加する時間がとれないといった理由で総学に参加できなかった会員や、参加費支払いが障害となっていた市民が参加しやすくなるという肯定面も存在しています。こうした両面をふまえオンライン開催の検証も行います。

「コロナ危機」について言えば、新型コロナウイルス自体の特質、被害の発生原因、感染予防や治療薬等の医療体制、感染拡大の抑制策、各種学校教育の再開策、終息後も含めた経済再活性化策など科学に対する市民の関心が高まっています。これらの問題の解決には学問分野を跨いだ知見が求められることも多いため、まさに JSA の出番と言えます。現在進行中の新しい事態で本格的な説明が困難な事項も多いとはいえ、市民の求めに応じて諸問題の説明に果敢

に挑戦することは JSA の使命にも合致し、大きな意義があります。こうした JSA の存在意義を幅広く打ち出し、従来の枠をこえた多くの方々を総学に惹きつけて、この 23 総学を JSA 発展の新たな契機としましょう。現在の困難な

条件のもとでも限られた条件を生かして、創意工夫によってできるだけ多くの人々に参加頂き、参加者とともに 23 総学を成功させましょう。皆様のご協力をお願いします。

分科会の設置申請締切を再延期(7月25日まで)

○分科会設置の申込み締め切りは 2020 年 7 月 25 日に再延長します。

○申込は原則として e メール(実行委員会アドレス 23sogaku@jsa.gr.jp)とします。(アドレス中の「*」は「@」にかえて使用して下さい)

○分科会設置申込書は、JSA ウェブサイト <http://www.jsa.gr.jp> の 23 総学のページにあります。この申込用紙に氏名、所属、連絡先、分科会名、設置の趣旨(200 字程度)を明記して e メールに添付し送信してください(郵送も可)。

第 23 総学のオンライン開催に向けて

予稿集は電子媒体で発行

予稿集は電子媒体(PDF ファイル)で作成し、参加者には各自で 23 総学実行委員会ウェブサイトからダウンロードして入手していただきます。紙媒体の予稿集(予稿冊子)は実費相当の有料(2000 円程度の見込み)で、事前(参加登録時)に注文をとり、総学終了後に印刷し郵送します。

参加費は無料、 募金にご協力を

オンライン開催とする今回の総学では、これまでかかっていた様々な費用を削減できる

ため、参加費は無料とします。オンライン化で費用は削減されますが、**通信費、印刷・宣伝費等一定の共通費が必要です**。これらは JSA 全国の総学予算とみなさまからの募金で賄う予定です。別途お願いする**募金にご協力**ください。

オンライン参加の方法

23 総学の企画はこれまでと同じくあらかじめ決められたプログラムに沿って実施します。**オンライン・ソフトは Zoom** を使用し、使用契約は実行委員会が行います。

(1) 参加希望者は、**事前に実行委員会ホームページで参加登録を行います**。参加登録が完了すると実行委員会は参加者に企画の URL (ウェブ上での接続先) を公開します。

(2) すべての**参加者は、自宅などから参加したい企画の URL にアクセス**して参加します。

(3) 司会者が進行を管理し、オンライン上で講演や報告、討論を行います。

インターネットに接続できる情報機器 (PC など) があれば、オンラインで開催される企画に参加することはさほど難しくありません。

※Zoom については、<https://zoom.us> をご覧ください。

オンライン参加でできること

(1) 報告者は PC のマイクを通じて音声で内容を伝えながら、同時に「画面共有」機能を使って、アクセスしている参加者にスライド (報告レジュメや資料など) を見せることもできます。

(2) 参加者は自分の情報端末 (PC など) を用いて、画像と音声で報告や講演を見聞きます。「画面の分割機能」を使って参加者の画像を見ることもできます。

(3) 参加者は、司会の指示に基づいてマイクで発言したり、チャット機能 (文字入力) を使って意見を出し、討論に参加することができます。

分科会のオンライン開催を全面的にサポート

分科会の開設日時に、参加者 (分科会設置責任者、座長、報告者を含む) が、各々自宅などから分科会 URL にアクセスして、ウェブ上で報告と討論を行います。

実行委員会は、この分科会のオンライン開催を全面的にサポートします。

(1) Zoom ソフトの使用契約、オンライン開催の立ち上げは実行委員会が行います。

(2) 分科会開設時間帯に実行委員会の担当者が待機し、トラブル等に対処します。

(3) Zoom の体験会を開設：分科会設置責任者や報告者を主な対象として、今回使用するオンライン・ソフト Zoom の体験会を設ける予定です。日時は相談の上。

(4) 分科会ごとに予行演習を行うことを推奨し、実行委員会担当者が補佐します。

サテライト会場など、多様な参加を

参加費無料を活用し、企画テーマに関心のある様々な人々 (非会員も) を気軽に誘って下さい。各支部の会議室や会員の研究室・自宅などネット環境のある場所に複数名が集まる場合は、複数名で 1 つの PC を共用する参加方法もあります。オンライン操作等にな慣れない人も参加しやすく、お薦めです。

今後のスケジュール

- 7 月 10 日 2nd サーキュラー発行（オンライン開催と分科会設置締切の再延期を通知）
- 7 月後半 Zoom 体験会（分科会設置検討者は積極的に体験を）
- 7 月 25 日 分科会設置申込締切
- 8 月 10 日 3rd サーキュラー発行（分科会発表者を募集）
- 9 月 30 日 分科会発表者の募集締切
- 10 月 20 日 分科会責任者が実行委員会にプログラムを提出
- 11 月 10 日 4th サーキュラー発行（プログラム発表）
- 11 月 10 日～15 日 分科会設置責任者への Zoom 体験会
- 11 月 15 日 予稿原稿提出締切（A4 版 2 ページ、PDF／Word、完成稿）
- 11 月 16 日～30 日 分科会単位で予行演習、全体会（特別報告、文化企画）予行演習
- 11 月 30 日 予稿集 PDF 送付（ダウンロード開始）
- 12 月 4 日～6 日 23 総学（オンライン開催）
- 12 月 25 日 予稿集冊子印刷納品、発送

第 23 回総合学術研究集会実行委員会（6 月 30 日現在、五十音順）

実行委員

青木和光（東京支部事務局次長）、亀山統一（沖縄支部）、河野 仁（研究企画部）、小滝豊美（茨城支部）、後藤仁敏（神奈川支部）、☆佐久間英俊（東京支部事務局次長）、○重松公司（研究企画部長）、丹生淳郷（埼玉支部）、◎松永光司（東京支部代表幹事）、三木敦朗（長野支部）、矢田俊文（新潟支部）、○米田貢（東京支部事務局長）

◎：実行委員長、○：副実行委員長、☆：事務局長

現地実行委員

小尾晴美（東京支部）、衣川清子（東京支部常任幹事）、中川 功（東京支部）、中島明子（東京支部常任幹事）、中西大輔（東京支部）、中野貞彦（東京支部常任幹事）、森原康仁（東京支部事務局次長）、山村延郎（東京支部幹事）、吉村さくら（東京支部常任幹事）

日本科学者会議 第 23 回総合学術研究集会実行委員会

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 HY ビル（茶州ビル）9 階

Tel : 03-3812-1472 Fax : 03-3813-2363 e-mail : 23sogaku@jsa.gr.jp

メールアドレスは「*」を「@」に替えて使用して下さい。